

日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画

2025年11月 岩田望来

□はじめに

もう11月が過ぎました。相変わらず早いです。

CEPEのOtoño 2 真っ最中の11月のハイライトといえばやはり、日墨会館で行われた秋祭りにボランティアで参加したことでしょ！今回のレポートでは秋祭りでの経験や、メキシコで「広島」を感じるということについて書いていこうと思います。

1.秋祭りで売り子をした話

11月29日と30日に日墨会館で秋祭りが開催されました。私と龍之介さんは、広島県人会のお手伝いとして参戦。龍之介さんはお好み焼きを大量に作り、私は広島県人会の同世代の女の子たちと店頭で売り子をしました。といっても私の役割は「¡Provecho!」と言いながらお好み焼きとナイフ・フォークセットを渡すだけでしたが笑、たくさんの人が笑って受け取ってくれて嬉しかったです。

12時くらいに開場したのですが、12時半くらいから16時くらいまではほぼノンストップでお客さんが来られました。体感どの団体よりも広く大きい広島県人会のブースの前が支払いを終え完成を待つお客さんでいっぱいになった瞬間が2日間だけでも多々。なんだかバイトを思い出しました。

それと同時に自分自身のスペイン語能力が如何に未熟なのかを痛感した2日間でもありました。広島のお好み焼きと関西のお好み焼きの違いすらも上手く伝えられないのです。それがとても悔しかった。メキシコに来てスペイン語が格段に伸びたことは自覚していますがそれでもまだ足りません。ローマは1日にして成らず (Roma no se hizo en un día)。語学は日進月歩。これからも努力が必要だと思いました。



2.メキシコで「広島」を感じる話

こんなカッコいいタイトルをつけてしまいましたが、順を追ってお話していきます。重いです。

私は海田町生まれですが、親の転勤の関係で生後100日～5歳くらいまで兵庫県の神戸市で暮らし、小学生時代を焼山という呉市と熊野町の間の町で過ごし、中学生から広島市に住むようになりました。若干関西とも縁がありますがほぼ広島生まれ広島育ち、地元アイデンティティも広島にあります。

広島は「世界で最初に原子爆弾が落とされた都市」というイメージが世界的にも強いです。CEPEには多国籍・多民族の学生が老若男女問わず通っていますが、やはりみんな知識人。日本のどこ出身？東京？と聞かれ、広島と答えると、8割くらいの割合で（年齢層が上がると特に）「え！？あの広島！？」と言われてしまうのです。日本人相手では絶対にされない反応をよくされます。

最も印象深い「え！？広島！？」エピソードを紹介します。授業で幼少期の祖父母の地元の様子を話す場面でぼんやりと戦時中の日本の様子をスペイン語で話していると、先生が「君の祖父母や曾祖父母は被爆したの？」と聞いたのです。父方の祖父母は呉市、母方の祖父母は熊野町に生まれており、曾祖父母も同様です。しかも呉市の中でも盆地の田舎ですから、被爆も空襲被害も受けていません。「広島市に住んでいなかったので被爆していません」と答えました。ほんの少しモヤモヤしました。

広島が「世界初の被爆都市」や「国際平和都市」のアイデンティティを持っていること、それがどれほど価値のあることなのかも十分理解しています。でも、それを理解した上で、広島を地元・故郷と認識している私としては原爆以外の広島も見てほしいと思ってしまうのです。

そもそも広島県と広島市の違いを区別してもらえているのかどうかも怪しいのでまずはそこからかもしれませんが、「戦争」「平和」「原爆」以外にもアピールできることがたくさんあることを私は知っています。私は広島の水が好きです。柔らかくて美味しく、きれい。初めて安芸太田町にある三段峡に行ったときは感動しました（今思えばソチミルコに似たものを感じます）。似島も好きです。あの島に行くと時間の流れが異常に遅くなります。備北丘陵公園、何度も行きました。夏も冬も楽しめるのは最強です。

食べ物も色々有名ですが、私は呉の肉じゃがが大好きです。もうしばらく食べられていませんが小学校の給食で頻繁に出ていました。日本版ビーフシチューである具の少ない甘い肉じゃが、もうちょっと有名になってほしい。

語り始めると止まらなくなるのでこの辺りにしますが、「広島＝原爆」の方程式が見えるたびに「それだけじゃないよ！」「いいところもたくさんあるよ！」「お好み焼き以外にも美味しいものもあるよ！」と思います。もちろん他の地方中枢都市に比べれば欠けているところ・中途半端なところもありますが笑、そんなところも含めて広島です。広島の魅力をもっと世界に知ってほしい、4か月間常々思っていました。

□おわりに

広島の話で1ページ超えてびっくりしました。これでも削ったのですが……。

12月の上旬にテストを控えており、それを終えると約1か月の冬休みに入ります。冬休みは1週間一人旅に行く計画があります。自分なりに目標を立て、充実した休暇を過ごせたらいいなと思っています。まずはテストを無事通過するところから。がんばります！

□岩田の推しスポット②

①に引き続き美術館です。今回紹介するのは現代美術館（Museo de Arte Moderno）！

その名の通り現代アートを展示する美術館です。4つの屋内展示室に加え広々とした中庭にも主に彫刻作品の展示があります。かなり広く、私はじっくり見過ぎて全て回るのに2日かかりました。同じく現代アートを展示するフメックス美術館（Museo Jumex）はかなり前衛的で解説を読まないの意味が分からないものがほとんどでしたが、こちらの現代美術館はフメックス美術館と比べるとかなり優しく分かりやすいです笑。

この美術館の展示品の中で最も有名な作品といえば、フリーダ・カーロの『二人のフリーダ』でしょう。フリーダ・カーロはメキシコの現代絵画を代表する女流画家で、『二人のフリーダ』はフリーダ・カーロの代表作です。日本や西洋の画家には出せない味のある絵画でした。

現代美術館はチャプルテペックの森に佇んでいます。CDMXに来た際はぜひ訪れてみてください！



右：フリーダ・カーロ『二人のフリーダ』

真ん中：現代美術館の公園側の入り口

左：クレベール・マチャード『西暦4,000年の考古学』（岩田訳）。1番好き。